

2021年度版 オンライン交流計画書 記入要領

● 申請受付方法

さくらオンラインプログラムに関しては、従来どおりメールにエクセルファイルの交流計画書を添付して申請する方法で受け付けます。

● その他留意事項

- 表紙の「受付番号」欄は、採択後に入力いただくセルですので、申請時は空欄にしてください。
- 6) 経費概算見積書シートにおいて、単価が複数ある場合は平均化して計上してください。さらに、金額および数量は 0 以上の整数で入力してください。なお、経費概算見積書の用途欄に金額の内訳は入力しないでください。
- 7) 改訂履歴シートは申請時には使用しませんので未入力のみでご提出ください。
- 経費条件の詳細については、さくらオンラインプログラム用募集要項（P9～）をご確認ください。
- （5/21 追記）2）参加機関概要を入力するさいに、参加機関が申請・招へい実績があった機関の場合は、別途公開している海外の機関名リストにおける「機関名称_日本語」および「機関名称_英語」欄の内容を、Excel の交流計画書の参加機関名（日本語）および参加機関名（英語）欄にそのままコピー & ペーストしてください。

【2021年度】 さくらオンラインプログラム

交流計画書

基本情報		受付番号欄は、申請時は記入不要です。 受付番号を入力すると、タイトルが「業務計画書」になります（契約時に使用）。	
受付番号	(申請時記入不要)		
【必須】交流計画のテーマ	●●分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流		
【必須】オンライン交流実施日程 (開始日～終了日)	2021/10/1 ~ 2021/10/7		
1) 実施機関概要			
【必須】実施機関名（日本語） 募集要項等を参照し、各公募回ごとに設定した「実施期間」内の日程を入力してください。 さくらオンラインプログラムでは、交流を計5日以上行うもの（短期間あるいは各週、各月での開催等。実施機関、参加機関がオフラインでそれぞれに活動を行う日程や準備のための打合せ日は含みません）であることが申請要件です。日程が連続していない場合でも、交流初日と最終日を入力してください。	【必須】実施機関名（日本語）	国立研究開発法人科学技術振興機構	
	JST	必ずしも、「受入れ機関名」欄の英訳と完全に一致する必要はありません。修了証に記載する名称であり、実際に受入れを実施した機関名でもかまいません。	
	中国総合研究・さくらサイエンスセンター さくらサイエンス交流事業推進室		
	主査		
	科学 太郎	「受入れ機関名」以下の部署名を入力してください。	
	102-8666		
	東京都	千代田区四番町5-3	
	03-5214-8997		
	aaa@jst.go.jp		
	国際部		
【必須】連絡担当者 (JSTと連絡調整を行う担当者)	役職	係長	
	氏名	技術 花子	
	郵便番号	102-8666	
	住所	東京都 千代田区四番町5-3	
	電話	03-5214-8997	
	E-mail	aaa@jst.go.jp	
	英数字・記号は半角で入力してください。		
【必須】事務担当者 (事務手続きを行う窓口担当者) ※連絡担当者と同一の場合も記入	部署	国際部	
	役職	係長	
	氏名	技術 花子	
	郵便番号	102-8666	
	住所	東京都 千代田区四番町5-3	
	電話	03-5214-8997	
	E-mail	aaa@jst.go.jp	
英数字・記号は半角で入力してください。			
【必須】契約法人情報 ※受入れ機関と同一の場合も記入	契約法人名	国立研究開発法人科学技術振興機構	
	法人番号	4030005012570	
【必須】実施責任者 ※実施協定書契約者押印欄に記載する内容を記入	部署・役職	契約分任担当	
	氏名	契約 次郎	
	住所	埼玉県 川口市本町4-1-8	
参加国/地域・人数	内訳	中国：5人， 予：10人	
	合計	15人	
		シート3) の内容が自動入力されます。	

【2021年度】さくらオンラインプログラム

交流計画書

基本情報		
受付番号	(申請時記入不要)	
【必須】交流計画のテーマ	●●分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流	
【必須】オンライン交流実施日程 (開始日～終了日)	2021/10/1 ~ 2021/10/7	
1) 実施機関概要		
【必須】実施機関名 (日本語)	国立研究開発法人科学技術振興機構	
【必須】「修了証」記載機関名 (英語)	JST	
【必須】実施主担当者 (交流を中心的に実施する担当者)	部署	中国総合研究・さくらサイエンスセンター さくらサイエンス交流事業推進室
	役職	主査
	氏名	科学 太郎
	郵便番号	102-8666
	住所	東京都 千代田区四番町5-3
	電話	03-5214-8997
	E-mail	aaa@jst.go.jp
【必須】連絡担当者 (JSTと連絡調整を行う担当者)	部署	国際部
	役職	係長
	氏名	技術 花子
	郵便番号	102-8666
	住所	東京都 千代田区四番町5-3
	電話	03-5214-8997
	E-mail	aaa@jst.go.jp
【必須】事務担当者 (事務手続きを行う窓口担当者) ※連絡担当者と同一の場合も記入	部署	国際部
	役職	係長
	氏名	技術 花子
	郵便番号	102-8666
	住所	東京都 千代田区四番町5-3
	電話	03-5214-8997
	E-mail	aaa@jst.go.jp
【必須】契約法人情報 ※受入れ機関と同一の場合も記入	契約法人名	国立研究開発法人科学技術振興機構
	法人番号	4030005012570

(オンライン開始日) (オンライン終了日)
2021/●/● ~ 2021/●/○

赤枠内のルールに従って、受入れ機関名と契約法人名を入力してください。

※1) 実施機関概要の「実施機関名 (日本語)」と「契約法人情報 契約法人名」の欄について、以下の例を参考に記入をお願いします。

	実施機関名 (日本語)	契約法人情報 契約法人名
国立大学	大学名のみ	国立大学法人○○大学
公立大学	大学名のみ	公立大学法人○○大学
私立大学	大学名のみ	学校法人○○
公立高校	東京都立○○高校	東京都
私立高校	高校名のみ	学校法人○○
国立高等専門学校	高専名のみ	独立行政法人国立高等専門学校機構
上記以外の高等専門学校	高専名のみ	学校法人○○
地方公共団体	都道府県・市区町村名	都道府県・市区町村名
民間企業	株式会社○○	株式会社○○
上記以外の法人の例	○○財団法人○○財団	○○財団法人○○財団
	国立研究開発法人○○機構	国立研究開発法人○○機構
	大学共同利用機関法人○○機構	大学共同利用機関法人○○機構

※上記機関の下部組織(研究所、病院、センターなど)については「部署」欄に記入してください。

※「修了証(英文)」へ記載する名称については、実施機関の下部組織名称でも構いません。

(参考) 国税庁法人番号公表サイト

<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>

2) 参加機関概要			
参加機関 1		さくらオンラインプログラムの場合、中国への登録番号は不要です。	
基本情報	国名・地域名	中国	
	機関名	日本語	サイエンス大学
		英語	University of Science
	代表者	理学部	
	所在地域（州、省）	Faculty of Science	
	住所	**** *	
	電話	**** *	
	URL	**** *	
機関概要（日本語）	※優秀な参加者を擁する機関であることの説明を含めてください。 【記入ガイド】 定型的な紹介ではなく、当該機関（あるいは学部、学科、研究室等）が優秀な招へい対象者を派遣しうること（たとえば当該機関等に対する国内外からの評価等により）説明してください。とりまとめ機関を受入れ機関に記入して申請する場合など組織単位での記載が難しい場合には、招へい者を選抜する基準など優秀な招へい者が参加することを説明してください。（～400字程度）		
参加機関 2			
基本情報	国名・地域名	チリ	
	機関名	日本語	科学研究所
		英語	Research Institute for Science
	代表者	**** *	
	所在地域（州、省）	*****	
	住所	**** *	
	電話	**** *	
	URL	**** *	
機関概要（日本語）	※優秀な参加者を擁する機関であることの説明を含めてください。 【記入ガイド】 定型的な紹介ではなく、当該機関（あるいは学部、学科、研究室等）が優秀な招へい対象者を派遣しうること（たとえば当該機関等に対する国内外からの評価等により）説明してください。とりまとめ機関を受入れ機関に記入して申請する場合など組織単位での記載が難しい場合には、招へい者を選抜する基準など優秀な招へい者が参加することを説明してください。（～400字程度）		
参加機関 3			
基本情報	国名・地域名	中国	
	機関名	日本語	●●大学
		英語	●● university
	代表者	**** *	
	所在地域（州、省）	*****	
	住所	**** *	
	電話	**** *	
	URL	**** *	
機関概要（日本語）	※優秀な参加者を擁する機関であることの説明を含めてください。 （5/21追記） 参加機関が申請・招へい実績があった機関の場合は、別途公開している海外の機関名リストにおける「機関名称_日本語」および「機関名称_英語」欄の内容を、Excelの交流計画書の参加機関名（日本語）および参加機関名（英語）欄にそのままコピー＆ペーストしてください。 必要に応じて印刷範囲を調整してください。		

3) 参加者										
【必須】参加者の参加機関・属性別人数										
	参加国	参加機関名	高校生	大学生	大学院生	ポスドク	教員	研究者	その他	合計
1	中国	サイエンス大学			5					5
2	チリ	科学研究所		10						10
3	中国	●●大学								
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: white; background-color: red;"> さくらオンラインプログラムでは、相手機関の参加人数が10名以上の交流(相手国の参加者に対するアンケート(参加者修了報告)により効果の検証を可能とすること)であることが申請要件です。 </div>										
参加者人数			高校生	大学生	大学院生	ポスドク	教員	研究者	その他	合計
				10	5					15

4) 実施体制
実施準備状況、体制
【必須】 実施機関として、適切な情報セキュリティが確保され、かつ円滑にオンライン交流計画を実施するための準備や体制 ※可能な限り「新しい生活様式」に倣って記入してください。
【記入ガイド】 以下について担当者（あるいは担当部署）を含めて記入してください。 ・渡航に必要な連絡調整のための人員が確保されていること ・滞在中の安全・円滑な活動、コミュニケーションのための人員が確保されていること 250字以内を目安に入力してください。
【任意】共同実施者 ※オンライン交流計画を共同で実施する他の機関の担当者について特に明示したい場合には、機関名、役職、氏名などを記入してください。
<input type="checkbox"/> □大学 ■■■■教授と連携して交流計画を共同で実施する。 <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 共同での実施や密に連携して受け入れる計画があれば入力してください。 </div>

5) 実施内容	
【必須】分野	理工系
交流計画のテーマ	●●分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流
<p>目的、趣旨</p> <p>※選考基準を参照の上、交流計画の目的や趣旨を記入してください。選考基準に記載された事項以外の目的を盛り込むことも可能です。</p>	
<p>【必須】(1)交流計画の目的、趣旨</p> <p>※オンラインだからこそ可能となる交流であることの説明、提案する交流計画の背景、目的、効果、実施後の展開を記入してください。</p>	
<p>【記入ガイド】</p> <p>700字以内を目安に入力してください。</p>	
<p>【必須】(2)科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保及び継続的交流について</p> <p>※交流計画の実施によって、日本への留学、就職、共同研究などの再来日や継続的な研究などの交流が促進されうることについて記入してください（上記欄の記載内容と重複してもかまいません）。</p>	
<p>【記入ガイド】</p> <p>700字以内を目安に入力してください。</p>	
<p>【実施機関が教育研究機関（大学、高専、高校または公的研究機関）の場合のみ必須】</p>	
<p>(3)実施機関のグローバル化の促進</p> <p>※交流計画の実施を契機として、たとえば、外国語で学位取得に必要な単位を取得できる体制、外国と容易に共同研究などを行える体制の構築、具体的な取り組みを伴う協定の締結・強化などが促進されうることについて記入してください（上記欄の記載内容と重複してもかまいません）。</p> <p>※実施機関の日本人学生などがオンライン交流に関与する場合、その内容やもたらしうる効果があれば記入してください。</p>	
<p>【記入ガイド】</p> <p>700字以内を目安に入力してください。</p>	

実施内容とその意義

【必須】(1)具体的な実施内容が、交流計画の目的、趣旨に対して適切で効果的であるかについて

【記入ガイド】

700字以内を目安に入力してください。

【必須】オンライン交流の実施内容

【記入ガイド】

700字以内を目安に入力してください。

さくらオンラインプログラムでは、交流を計5日以上行うもの（短期間あるいは各週、各月での開催等。実施機関、参加機関がオフラインでそれぞれに活動を行う日程や準備のための打合せ日は含みません）であることが申請要件です。実際にオンライン交流を実施する日程に関して、その実施内容を入力してください。

オンライン交流実施日程（開始日～終了日）

2021/10/1 ~ 2021/10/7

【必須】(2)参加者が能動的に参加できる体験や交流が含まれているかについて

【記入ガイド】

700字以内を目安に入力してください。

【任意】その他

※本事業の実施による再来日などの成果や他の事業での受入れ実績など、特記すべき実績があれば記入してください。

6) 経費概算見積書

【任意】経費計画の特徴

(1)経費削減の工夫	
(2)経費の必要性について	■ 選考および経費の要否判断に用いますので、特筆すべき事項があれば 記入してください。
(3)その他 (あれば)	国内交通費については、単価欄に1人あたりの国内交通費を計上することもできますが、単価の算出が難しい場合など、数量欄に「1」を入力することで、単位が「式」に変わりますので、「1式」として計上することもできます。

費目						JST支援金 費目合計		用途など * 金額内訳は本欄には記入しない	
直接 経費	国内旅費	協力者	国内交通費	2,500	1	式	2,500	学校⇄参考映像撮影場所	
			国内滞在費	0	0	人×泊	0		
			宿泊費・日当の単価合算 は15,000円以下	0	0	人×日	0		
	プログラム経費	必須の消耗品、専用会場やオンライン交流ツール使用料、配付資料や映像などの製作費、外注費		100,000	-	一式	100,000	資料映像撮影制作費	
	謝金	通訳者	* 高校生・高専生以外も対象 * 1言語につき1イベントあたり1人まで			人×日	0	10月6日〇〇大学教授・10月7日〇〇大学教授 10月1日～10月7日迄1日2時間×1人	
		講師・講演者		10,000	2	人	20,000		
		TA・学生アルバイト	* 単価は1,700円/人×時間以下 * 交流日数×3人×8時間まで計上可能	1,700	14	人×時間	23,800		
	不課税取引などに係る消費税相当額		※必ず計上すること				4,380	4,380	謝金 免税事業者は「免税事業者」と入力してください。
	JST支援金 (直接)		※計上しない場合は「0」と記入(未記入の場合は原則0円と扱う)。				150,680		免税事業者の場合は「0円」とし、それ以外の場合には謝金の10%で計上してください。
	一般管理費 (JST支援金事)						12,630	12,630	
総計						163,310	163,310		

実際には日給で支払われる場合も、ここでは概算でかまいませんので、時給換算で単位を合わせて計上してください。

対象となる日程、数量の根拠が分かるように入力してください。

